

7月7日定例記者会見事項書

令和7年7月7日（月）午前11時～

市役所本庁舎4階 庁議室

1. 市長からの発表

（1）核兵器禁止条約の署名と批准を求める要請書の提出 -----（資料No.1）

（2）生理用品無償配布の本格運用の開始 -----（資料No.2）

（3）関西本線利用促進ポスターについて -----（資料No.3）

（4）「伊賀市の農業を考えよう！」

オープンハウス型説明会の開催 -----（資料No.4）

（5）旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE オープニングセレモニー

およびホテル「泊船」市民内覧会の開催 -----（資料No.5）

（6）ライトアップイベント「お城のまわり」の開催 -----（資料No.6）

（7）第42回上野城薪能の開催 -----（資料No.7）

2. その他

（1）人権啓発パネル展 -----（資料No.8）

（2）本庁舎アート情報 -----（資料No.9）

担当連絡先
伊賀市人権生活環境部人権政策課 人権政策係 担当者名：西岡、久保田 電話番号：0595-22-9683

核兵器禁止条約の署名と批准を求める要請書の提出について

1 発表事項の概要

日本政府に対し、核兵器禁止条約の署名と批准を求める要請書を提出します。

2 発表内容

(1) 目的

核兵器の廃絶と、国際平和の早期実現に向けた平和行政の推進

(2) 日時

令和7年7月7日 発送予定

(3) あて先

外務大臣 岩屋 毅 様

(4) その他

要請書の内容は、別紙のとおりです。

外務大臣 岩 屋 毅 様

核兵器禁止条約への署名・批准を求めます（要請）

伊賀市では、戦後60年にあたる平成17年6月24日に、「非核平和都市」伊賀市を宣言、また、平和首長会議に加盟し、世界の恒久平和の実現と、核兵器のない平和な社会の実現に向けて取組を進めてきました。戦後80年の本年は、戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて考え、地域から平和の実現に向けて発信のできる次世代の人材育成を目的に「戦後80年伊賀市平和の集い」を実施し、非核・平和の取り組みを次代に紡いでいくことを考えています。

80年前の広島、長崎で原子爆弾の投下という、凄まじい体験をした被爆者たちは、忘れてしまいたい自らの体験を語り続け、他の誰にもこんな思いをさせてはならないと3度目の核兵器使用を防ぎ続けてきました。令和6年に日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞したことは長年にわたる功績が世界に高く評価されたものと言えます。

日本政府は、被爆者の思いに応え、唯一の戦争被爆国として核兵器のない世界の実現に向けて国際社会をリードする使命を有しています。つきましては、日本政府においては、核兵器禁止条約への署名・批准をすみやかに行い、核兵器廃絶に向けた国際的な取り組みを積極的に推進されることを、非核平和宣言都市・伊賀市を代表して強く要請します。

令和7年7月7日

三重県伊賀市長 稲 森 稔 尚

担当連絡先
人権生活環境部 人権政策課 男女共同参画係 担当者名：川口・正井・永井口 電話番号：0595-22-9632

生理用品無償配布の本格運用の開始について

1 発表事項の概要

経済的な理由で生理用品を購入できない「生理の貧困」問題や、生理の心身への影響により女性が十分に力を出し切れず、チャンスを失うことで「社会全体の損失」にもつながる問題について、伊賀市では課題解消に向けて生理のイメージ改善、社会全体での理解を深めるため、令和5年11月から生理用品の無償配布を試行しています。期間中に利用者アンケートを行った結果、生理による女性特有の悩みの解消や意識の高揚などから無償配布の継続希望の意見が多数ありました。アンケート結果に加え、困難女性の支援や女性活躍推進、ジェンダーギャップ解消などの観点から、現在の配布方式により本格運用を行います。

2 発表内容

- (1) 目的 経済的な理由で生理用品を買うことが難しい女性の支援。
女性の生理に伴う負担軽減によるジェンダーギャップの解消。
- (2) 内容 トイレ内洗面台の一角に、必要な人が自由に取りれるように生理用ナプキンを設置。個室および洗面台に無償配布実施の標示板設置。
(生理用品無償配布試行の施設に引き続き設置)
- (3) 日時 2025（令和7）年7月7日（月）から
- (4) 設置場所 伊賀市役所本庁舎、ハイトピア伊賀、上野図書館
※全階女子トイレ及び多目的トイレ手洗い場
- (5) 従来との比較
 - ・ 掲示板上に女性の悩みに関する相談先を追加。
 - ・ 試行に引き続き、生理用品設置に関する意見などをアンケート形式で依頼。（QRコード掲示）

(6) 試行期間の利用者アンケートの結果について

◎期間：R5.11～R7.4 回答者：127人

◎この取組について

- ・続けてほしい … 87%
- ・改善して続けてほしい … 12%
- ・続ける必要はない … 1%

◎生理用品がなくて困ったことがあるか … ある 88%

◎生理の貧困問題の解決策で重要だと思うこと

- ・生理用品を無料で入手できる仕組みづくり 39%
- ・社会の理解促進(男性の理解促進) 34%
- ・生理に関する正しい知識の普及 24%

きゅう せいり こま かた
- 急 な生理などでお困りの方へ -
て あ ら ば せ い り よ う ひ ん
手洗い場の生理用品を
り よ う
ご利用ください

せいりようひん わす か
生理用品を忘れた、買うことができなかった、
からだ が づ ら く て も 我 慢 し た、「生理は隠すもの」と
おも そ う だ ん
思 っ て 相 談 で き な か っ た こ と、あ り ま せ ん か？

い が し も ん だ い し ゃ か い
伊賀市では、こうした問題を社会のみんなで
かん が 考 え る き っ か け と し て、ま た 女 性 が 自 分 の 力
だ き せ い り よ う ひ ん お
を し 切 れ る よ う に 生 理 用 品 を 置 い て い ま す。

ひ つ よ う ぶ ん つ か
どうぞ必要な分だけお使いください。

せいりようひんせっち きょうりよく ねが
☀ 生理用品設置のアンケートにご協力をお願いします ⇒



じょせい なや そ う だ ん
女性のための悩み相談

い が し や く し ょ そ だ し え ん か
伊賀市役所 こどもの育ち支援課

で ん わ
電話：0595-22-9609

げ つ き ん し ゅ く じ つ ね ん ま つ ね ん し の ぞ
月～金(祝日、年末年始除く)

8:30～17:15

み え け ん だ ん じ ょ き ょ う だ ん かん
三重県男女共同参画センター

「フレンデみえ」

で ん わ
電話：059-233-1133

9:00～12:00(火～日)

13:00～15:30(火・金～日)

17:00～19:00(木)



せいかつし え ん そ う だ ん
生活支援相談

い が し や く し ょ せいかつし え ん か
伊賀市役所 生活支援課

で ん わ
電話：0595-22-9650

げ つ き ん し ゅ く じ つ ね ん ま つ ね ん し の ぞ
月～金(祝日、年末年始除く)

8:30～17:15

い が し し ゃ か い ふ く し き ょ う ぎ かい
伊賀市社会福祉協議会

く ら し サ ポ ー ト セ ン タ ー お あ い こ

で ん わ
電話：0595-22-0084

げ つ き ん し ゅ く じ つ ね ん ま つ ね ん し の ぞ
月～金(祝日、年末年始除く)

8:30～17:00



い が し だ ん じ ょ き ょ う だ ん かん
伊賀市男女共同参画センター ☎0595-22-9632

担当連絡先
地域力創造部 公共交通課
担当者名：森地、八幡
電話番号：0595-22-9663

関西本線利用促進ポスターについて

JR 関西本線利用促進と電化を進める会（事務局：伊賀市公共交通課）は、関西本線の利用促進を図るため「JR 関西本線に乗って 大阪・関西万博へ行こう」ポスターを作成しました。本ポスターは万博開催期間まで関西本線の駅構内や市内公共施設、商業施設等に掲出します。詳細は下記のとおりです。

記

- 1. タイトル 「JR 関西本線に乗って 大阪・関西万博へ行こう」
- 2. 掲出期間 大阪・関西万博の開催期間（10月13日）まで掲出
- 3. 掲出場所 関西本線の駅構内、市内公共施設、商業施設など
- 4. デザイン



※B1 サイズ

《JR 関西本線利用促進と電化を進める会とは》

民間企業・各種団体・個人・自治体で協力し合い、関西本線の利便性向上への要望活動や利用促進に取り組む団体です。国鉄分割民営化の翌年の昭和 63 年 11 月 28 日に「JR 関西本線複線・電化を進める会」が発足され、平成 29 年からは会の名称を現在の「JR 関西本線利用促進と電化を進める会」に改め、利用促進事業を実施しながら、JR 西日本との相互理解による信頼関係を構築し、連携協力しながら地域と線区の活性化に取り組んでいます。

※会長は田山雅敏（上野商工会議所会頭）

〔現在の会員数〕 令和 7 年 7 月 7 日現在

企業会員 19 社、団体会員 16 団体、個人会員 72 名、自治体会員 1（伊賀市）

担当連絡先
伊賀市産業農林部農林振興課 計画係 担当者名：山添、藤森、大谷 電話番号：0595-22-9712

オープンハウス型説明会を開催します

1 発表事項の概要

市の将来の農業振興の目標や基本方針を明確にし、その実現に向けて取り組む方策を示す「伊賀市夢のある農業振興計画」を策定にあたり、パネル展示や対面での説明などによる情報提供と、アンケートや聞き取りによる意見聴取を行うオープンハウス型説明会を開催する。

2 発表内容

(1) 目的

市の将来の農業振興の目標や基本方針を明確にし、その実現に向けて取り組む方策を示す「伊賀市夢のある農業振興計画」を策定にあたり、パネル展示や対面での説明などによる情報提供と、アンケートや聞き取りによる意見聴取を行うため。

(2) 日時

- ①令和7年7月29日(火) 10時から16時まで
- ②令和7年8月3日(日)及び8月4日(月) 10時から16時まで

(3) 場所

- ①伊賀市役所本庁舎1階 市民スペース
(伊賀市四十九町3184番、0595-22-9712)
- ②とれたて市ひぞっこ サービスカウンター前
(伊賀市平野西町1番1、0595-21-0831)

(4) 内容

- ・ パネル展示⇒伊賀市の農業に関する現状や未来のビジョンをわかりやすく展示
- ・ 対面での説明⇒来場者に対して市の職員が説明
- ・ 意見聴取⇒アンケートなどを通じて、意見や提案などを聴取

(5) 主催者

伊賀市

(6) その他

オープンハウス型説明会の開催に合わせて、以下の場所及び日程でパネル展を開催します。(いずれも対面での説明はなく、パネル展示のみ)

①伊賀市役所本庁舎3階 農林振興課前周辺ロビー

令和7年7月30日(水)から8月15日(金)まで(土日を除く)

②ハイトピア伊賀1階 エントランスホール

令和7年7月31日(木)から8月17日(日)まで

3 特記事項

令和7年7月29日(火) 10時から市長が参加予定

入退場
自由

初

伊賀市の農業を考えよう！

オープンハウス型説明会

オープンハウスってなに？

パネル展示や対面での説明などによる情報提供と、アンケートや聞き取りによる意見聴取を行う会のことです。



7 月 29 日 (火) @伊賀市役所 1 階 市民スペース
(伊賀市四十九町3184番)
10:00~16:00

8 月 3 日 (日) @とれたて市ひぞっこ
8 月 4 日 (月) サービスカウンター前
(伊賀市平野西町 1 番 1)
10:00~16:00



パネル展示



伊賀市の農業に関する現状や未来のビジョンをわかりやすく展示します！

対面での説明



市の職員が直接お話ししますので、気になることは何でも聞いてくださいね！

ご意見の募集



アンケートなどを通じて、ご意見や提案など、皆さんの声を聞かせてください！



同じ内容のパネル展を開催します！！

★R7.7.30(水)~8.15(金) ※土日祝除く

@伊賀市役所3階 農林振興課前周辺ロビー

★R7.7.31(木)~8.17(日)

@ハイトピア伊賀1階 エントランスホール

※対面での説明はなく、パネル展示のみとなります。

お問い合わせはお気軽に
伊賀市農林振興課まで

☎ : 0595-22-9712

✉ : nourin@city.iga.lg.jp



「伊賀市夢のある農業振興計画」 を策定します！！



市の将来の農業振興の目標や基本方針を明確にし、その実現に向けて取り組む方策を示す「伊賀市夢のある農業振興計画」を策定します。

【計画期間】

2027（令和9）年度から2036（令和18）年度の10か年です。
なお、概ね5年を目途に見直しをおこないます。

【計画の内容】

これまで先代が築き上げてきた地域農業や自然環境を守っていくとともに、将来の農業者が安心して経営できる体制づくりや、伊賀市の地域資源を活用した先進的な農業に取り組むことにより、所得の向上や雇用の創出をめざします。

また、若者や女性などが農村の持つ価値や魅力を感じて、関心や関わりを高められるような「夢のある農業」をめざします。



【策定体制】

（1）審議機関

学識経験者や公共的団体、農業や商工業の関係者、市民から公募した者等で構成する「伊賀市夢のある農業振興計画策定委員会」に市長が諮問し、答申を受けることとしています。

（2）市民参加

アンケートやパブリックコメント及びタウンミーティング等による意見交換の場を設けます。

（3）関係機関による体制

伊賀市の農業部局を中心とし、庁内の関係部局と横断的な連携を図るとともに、三重県や伊賀ふるさと農業協同組合等からの意見も反映させながら本計画の策定を進めます。



アンケートへのご協力をお願いします。
QRコードを読み取ってください⇒



担当連絡先
(株)伊賀市にぎわいパートナーズ 担 当 者：高橋 和弘 電話番号：080-1021-0642 E-mail：k-takahashi@hitocom.com
伊賀市産業農林部中心市街地推進課 担 当 者：森中、中澤 電話番号：0595-22-9825

旧上野市庁舎 ^{サカクラベース} SAKAKURA BASEオープニングセレモニーおよび
ホテル「泊船」市民内覧会の開催について

1 発表事項の概要

伊賀市は「にぎわい忍者回廊整備事業」の一環として、旧上野市庁舎の整備を完了しました。これを記念し、2025年7月19日（土）午前9時より関係者を対象としたセレモニーを開催します。

また、同日午後3時より、ホテル「泊船」^{はくせん}の市民向け内覧会を開催します。

2 発表内容

①オープニングセレモニー

（1）目的

旧上野市庁舎の整備完了を記念し、「にぎわい忍者回廊整備事業」の一環としての取り組みの成果を関係者にお披露目するとともに、地域の新たな観光拠点としての本格稼働開始を祝うためのセレモニーを開催します。このセレモニーを通じて、伊賀市の歴史と文化を象徴する新たな複合施設の誕生を広く認知していただき、今後の地域活性化と観光振興に向けた期待を高めることを目的としています。

（2）日時

2025年7月19日（土）午前9時から

（3）場所

旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE（伊賀市上野丸之内 116 番地）

（4）参加者

稲森稔尚伊賀市長、澤田剛伊賀市教育長、赤堀久実伊賀市議会議長、株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ関係者、地元住民代表者 他

(5) プログラム

- ・オープニング
- ・主催者挨拶
- ・共催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・テープカット
- ・施設ご紹介

(6) 主催者

主催：株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ

共催：伊賀市

(7) その他

- ・各施設のオープン日時は以下のとおりです。

- 観光案内「伊賀市観光インフォメーションセンター」 7月19日(土) 午前9時
- 物産販売「伊賀百貨 ^{スーベニア} Souvenir ^{ショップ} Shop」 7月19日(土) 午前9時
- カフェ「^{クロス} CROSS ^{カフェ} CAFÉ」 7月19日(土) 正午
- 宿泊施設「ホテル「^{はくせん} 泊船」」 7月21日(月・祝)

②ホテル「泊船」市民向け内覧会

(1) 目的

ホテル「泊船」のオープンに先立ち、伊賀市民の皆さまを対象とした内覧会を開催いたします。

(2) 日時

2025年7月19日(土) 午後3時から

(3) 定員

50名(事前申込・定員を超えた場合は抽選)

(4) 応募方法

ホテル「泊船」ホームページに掲載の応募フォームより応募

【ホテル「泊船」ホームページ】<https://hakusen-iga.com/>

(5) 応募締切

2025年7月10日(木)

3 特記事項

- ・オープニングセレモニーの取材にお越しいただく場合は、会場設営の都合上、事前に来場予定人数や使用機器等をご報告ください。

【取材お申込フォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdOKdC9jrckEqIxWiRdGr3Xt8XR5GmgLQXi6jKCorTqg5v15w/viewform?usp=header>



- ・オープニングセレモニーは限られたエリア内での取材となり、ホテル「泊船」へはお入りいただくことはできません。
- ・オープニングセレモニー終了後、別途ホテル「泊船」を内覧・撮影いただける時間を設けていただきます。(約1時間程度)
- ・市民内覧会への同行取材はできません。

担当連絡先
産業農林部 中心市街地推進課 担当者名：前川 電話番号：0595-22-9825

ライトアップイベント「お城のまわり」の開催

1 発表内容

(1) 目的

上野公園内と周辺施設の歴史・文化的建造物等をライトアップし、地域にある建物等の素晴らしさを市民及び来街者に発信し、再確認してもらうとともに、夏の夕涼みのひとときを楽しんでもらう。

(2) 日時

8月9日(土)、10日(日) 午後5時～午後9時

(3) 場所

上野公園と周辺歴史的建造物

(4) 参加(見込)人数

約18,000名(市内、近隣市町村、お盆帰省者など)

(5) 内容

施設ライトアップ

伊賀上野城・俳聖殿・芭蕉翁記念館・旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE・上野西小学校体育館・上野高校明治校舎・旧崇広堂・忍者市(上野市)駅舎・伊賀伝統伝承館・成瀬平馬家長屋門(忍者体験施設)

伊賀上野城本丸広場：竹灯り・和傘灯り・行灯

俳聖殿前でのステージイベント(ダンス・ゴスペル)

上野市駅前でのフードイベント(伊賀マルシェ 2025 夏)

スタンプラリー：ライトアップ施設等5か所

夜間開館：伊賀上野城、芭蕉翁記念館、旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE
旧崇広堂(ガラス展)、伊賀伝統伝承館(伊賀くみひも組匠の里)

(6) 主催者

お城の周りライトアップイベント実施委員会

担当連絡先
地域力創造部文化振興課 担当者名：藤田、水谷 電話番号：0595-22-9621

第42回上野城薪能の開催について

1 発表事項の概要

令和7年度開催の第42回上野城薪能の開催告知

昭和59年から続く「上野城薪能」は、毎年中秋の名月の頃に、伊賀上野城天守を背にした能舞台で開催され、今年で42回目を数えます。

多くのファンに愛され、今や伊賀の秋の風物詩とも言える「上野城薪能」を今年も継承し開催いたします。

2 発表内容

(1) 目的

伊賀市が能楽の祖「観阿弥」誕生の地であることを内外に広め、本市のさらなる魅力の向上、文化芸術振興に資することを目的に実施するもの

(2) 日時

令和7年9月13日(土) 午後6時開演(午後5時15分開場)

(3) 場所

伊賀上野城本丸広場特設舞台

(雨天の場合は伊賀市文化会館に変更します)

(4) 定員

300席(S席指定50席、S席エリア50席、A席指定30席、
A席エリア70席、自由席100席)

- (5) 入場料 S席指定席(呈茶券付) 3,500円、S席エリア 3,000円
A席指定席(呈茶券付) 2,500円、A席エリア 2,000円
自由席(一般1,500円、高校生以下 700円)

(中学生以下先着30席無料 ※要整理券)

※チケット販売 7月13日(日) 午前9時から

購入場所：伊賀市文化会館、青山ホール、電子チケット teket(テケト)
残席あれば当日券を販売します。

(6) 内容

大蔵流狂言「萩^{はぎ}大名」、観世流能「船弁慶^{ふなべんけい}」

(7) 主催者

上野城薪能実施委員会(委員長 伊賀市長 稲森 稔尚)

3 特記事項

取材時のフラッシュ撮影はご遠慮ください。

第42回

上野城

薪能

TAKIGI NOH

能楽の祖観阿弥
誕生の地伊賀上野

◆能
◆狂言
船弁慶
萩大名

2025

「船弁慶」より

9月13日(土) 開場 17:15
開演 18:00

伊賀上野城本丸広場

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内114

雨天時

伊賀市文化会館

〒518-0809
伊賀市西明寺 3240-2

※荒天により中止する場合がございます。※開演後に中止となった場合、払い戻しは行いません。

入場料(税込)

指定席	S席 呈茶券付(50席) 3,500円	A席 呈茶券付(30席) 2,500円	自由席	S席 エリア(50席) 3,000円	A席 エリア(70席) 2,000円	一般 1,500円	高校生以下 700円
-----	------------------------	------------------------	-----	-----------------------	-----------------------	--------------	---------------

※定員 300席 ※S席・A席の呈茶券付の座席は指定席となります。(S席呈茶券付指定=1~2列目、A席呈茶券付指定=5列目)

※S席エリア(3~4列目)、A席エリア(6~8列目)、自由席は(9~12列目)内は先着によりご着席ください。※座席の詳細については、(公財)伊賀市文化都市協会にお問合せいただくか、HPでご確認ください。※中学生以下は先着30名無料招待(座席は自由席にて、下記の2ホールで整理券を発行します。なお8月31日⑩を締切とします)※中学生以下は無料招待・有料に関わらず保護者同伴に限り。※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱

7月13日⑩発売 9:00~

伊賀市文化会館 ☎0595-24-7015

青山ホール ☎0595-52-1109

電子チケット 右の二次元コードまたは下記 URL よりアクセスください
[teket <https://teket.jp/5744/51580>]

teket



※発売日の10:00から残席がある場合は伊賀市文化会館で電話予約が可能です。
※ご購入、ご予約いただいたチケットのキャンセルおよび変更はできません。
※残席がある場合は当日の開演会場にて、16:30から販売いたします。

お問合せ

公益財団法人
伊賀市文化都市協会
☎0595-22-0511
休館日: 毎月最終火曜日



■ホームページにてその日の公演会場を
お知らせいたします

[<https://www.bunto.com>]



注意事項

呈茶時間 16:00~17:45

※お車で越しの方は、臨時駐車場(上野西小学校グラウンド)または周辺の
市営駐車場等をご利用ください。

※撮影・飲食は固くお断りします。

※車イスでの来場の方は伊賀市文化会館までお問合せください。

[主催] 上野城薪能実施委員会 [後援] 三重県博物館協会・伊賀市教育委員会

[助成] 公益財団法人 岡田文化財団

◆上野城薪能は、伊賀市ふるさと応援寄附金を活用して実施しています。

◆この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。

アクセス

伊賀上野城本丸広場

■伊賀鉄道「上野市駅」より徒歩約10分

■車 名阪国道上野東ICから上野公園まで約5分

※駐車スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

第42回 上野城薪能 番組

火入れ式

市長挨拶

能の話 武田大志

狂言 萩大名 大名 茂山宗彦

太郎冠者 宿の亭主 鈴木 実 茂山七五三

後見 井口竜也

源義経 武田真奈実

静 平知盛ノ霊 吉井基晴

能 船弁慶 弁慶 前後之替 義経従者 原 大 原 陸

間 船頭 茂山千之丞

後見 武田大志 味方 團

地謡 吉井紹智 浦部幸裕 宮川卓也 武田邦弘 宮本茂樹 分林道治

伊賀の人

かんあみ きよつぐ 観阿弥清次（一三三三〜一三八四）

能楽を大成した観阿弥は元弘三（一三三三）年

五月、伊賀国・上島次郎左衛門元成の

三男として生まれたとされる。

母は河内国南朝の忠臣・楠木正成の姉

または妹とされる。

大和猿楽四座の一つの結崎座を結成、

後に猿楽に田楽能や曲舞等の長所を取り入れ、

能の音曲を改革して能の基礎を確立した。

子・世阿弥と共に室町幕府三代将軍

足利義満の庇護を受け、創立間もない観世座を

能界の主流にまで育てあげた。

元中元（一三八四）年、駿河国一之宮、

浅間神社での興行の後、客死した。（五十二歳）

特別御協賛

御協賛

日合通信電線株式会社

一般社団法人伊賀上野観光協会

D M G 森精機株式会社

上野文化美術保存会

公益財団法人伊賀文化産業協会

公益財団法人伊賀市文化都市協会

三重中央開発株式会社

上野西部地区住民自治協議会

ロート製菓株式会社上野テクノセンター

上野南部地区住民自治協議会

（敬称略）

担当連絡先

人権生活環境部 人権政策課

担当者名：中川

電話番号：内線 2612

人権啓発パネル展の開催について

(1) 目的

毎月テーマを変えてパネル展を開催し、より多くの市民に人権啓発パネル等を見てもらうことで、さまざまな人権問題に触れてもらい、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消をめざします。テーマもそれぞれ違いますので、ひとりでも多くの市民の方に興味を持っていただければと思います。

(2) 展示内容

①人権政策課「人権啓発パネル展」

「寝た子を起こすな論」という、そっとしておけば次第に差別はなくなっていくという考え方があります。しかし、差別を助長するような言動や行動、書き込みなどがある限り、この問題が消失することはありません。差別をなくすために主体的に行動する姿をパネルで紹介します。

精神に障がいのある人に対する差別は、偏見によるものが多く、社会で生活をする際の大きな壁となっています。精神の病気になることは決して特別な事ではありません。病の成り立ちについて正しく学び合い、障がいの有無に関わらず、共に生活できるまちづくりが求められています。

テーマ：「部落差別（同和問題）①「障がい者の人権①」

期 間：7月1日（火）～7月30日（水）平日のみ午前8時30分～午後5時15分
伊賀市役所 本庁舎3階フロア （伊賀市四十九町3184番地）

②寺田市民館「じんけん」パネル展

市民一人ひとりがさまざまな人権課題について考えていただくきっかけとなるよう、伊賀市職員が執筆し、2024年度広報いがに掲載された人権コラムをまとめたものです。

テーマ：「2024年度広報いが人権コラム 明日に向かって～差別をなくしていくために～」

期 間：7月3日（木）～7月30日（水）平日のみ 午前9時～午後5時

※7月8日（火）・15日（火）は午後7時30分まで延長

寺田教育集会所 第1学習室（伊賀市寺田225番地）

③いがまち人権センター「いがまち人権パネル展」

新型コロナウイルス感染症は世界中で爆発的に広がり、経済活動や社会的活動などに大きな影響が出ました。また、感染者やその家族、医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーなどに対して誹謗中傷やバッシング、偏見・差別、排除が起き、大きな社会問題となりました。

新型コロナウイルス感染症に起因する差別が、なぜ起きたのか、また歴史上で繰り返されてきた「感染症と差別」について学び、差別をなくすために「私たちには何ができるか」ということを考えます。

テーマ：「感染症に起因する差別をなくそう」

期 間：7月8日（火）～7月24日（木）平日のみ 午前9時～午後5時

※7月10日（木）・17日（木）・24日（木）は午後7時30分まで延長

いがまち人権センター（伊賀市柘植町8898）

じんけんけいはつばねるてん 人権啓発パネル展

【7月のテーマ】

① 「部落差別(同和問題)！」

「寝た子を起こすな論」という、そっとしておけば次第に差別はなくなっていくという考え方があります。しかし、差別を助長するような言動や行動、書き込みなどがある限り、この問題が消失することはありません。差別をなくするために主体的に行動する姿をパネルで紹介します。

② 「障がい者の人権！」

精神に障がいのある人に対する差別は、偏見によるものが多く、社会で生活をする際の大きな壁となっています。精神の病気になることは決して特別な事ではありません。病の成り立ちについて正しく学び合い、障がいの有無に関わらず、共に生活できるまちづくりが求められています。

てんじきかん
【展示期間】

がつついたち か がつ にち すい
7月1日(火) ~ 7月30日(水)

てんじばしょ
【展示場所】

ほんちょうしゃ かい きたがわ え れ ベー た ー ほ ー る ほんちょうしゃ かい こくちょうえつらんしつ へきめん
①本庁舎 3階 北側エレベーターホール ②本庁舎 3階 国調閲覧室 壁面

と あ
【問い合わせ】

じんけんせいさくか でんわ ないせん
人権政策課 TEL 0595-22-9683 (内線2611)

てらだし みんかん

てん がつ

寺田市民館「じんけん」パネル展7月

ねんど こうほう

2024年度 広報いが

じんけん

人権コラム

しみんひとり

じんけんかだい

かんが

市民一人ひとりがさまざまな人権課題について考えていただく

いがししょくいん しっぴつ

ねんどこうほう

きっかけとなるよう、伊賀市職員が執筆し、2024年度広報い

けいさい

じんけん

がに掲載された人権コラムをまとめたものです。

ばしよ

てらだきょういくしゅうかいしよ だい がくしゅうしつ

場所：寺田教育集会所 第1学習室

にちじ

がつみっか もく

にち すい

日時：7月3日(木)～30日(水) 9:00～17:00

えんちょうび

がつようか か

にち か

延長日：7月8日(火)・15日(火)

てんじ

*19:30まで展示しています。



と あ さき てらだし みんかん

お問い合わせ先:寺田市民館

TEL/FAX 23-8728

じんけん ば ね る てん
いがまち人権パネル展

かんせんしょう き い ん

「感染症に起因する

さ べ つ

差別をなくすために」

しんがたころなういるすかんせんしょう せかいじゅう ばくはつてき ひろ けいざいかつどう しゃかいてきかつどう
新型コロナウイルス感染症は世界中で爆発的に広がり、経済活動や社会的活動
などに大きな影響が出ました。また、感染者やその家族、医療従事者をはじめとす
るエッセンシャルワーカーなどに対して誹謗中傷やバッシング、偏見・差別、排除
が起き、大きな社会問題となりました。

しんがたころなういるすかんせんしょう きいん さべつ お れきしじょう
新型コロナウイルス感染症に起因する差別が、なぜ起きたのか、また歴史上で
繰り返されてきた「感染症と差別」について学び、差別をなくすために「私たちに
は何ができるか」ということを考えます。

が つ じんけん へいわ て -
《7月の人権・平和デー》

- ついたち あ い め ぶんか しんこうほうしこう ねん
1日 アイヌ文化振興法施行(1997年)
- よつか じんけんきょういく こくれん ねん かん こくないこうどうけいかくさくてい ねん
4日 人権教育のための国連10年に関する国内行動計画策定(1997年)
- ようか か さべつ きょうちようしゅうかん
8日~14日 いがまち差別をなくす強調週間
- とおか どうわたいさくじきょうとくべつそちほうしこう ねん
10日 同和対策事業特別措置法施行(1969年)
- にち せかい ゆ - すぎのうて -
15日 世界ユース技能デー
- にち せいどういつせいしょうがいしゃ せいべつ と あつか とくれい かん ほうりつこうふ しこう ねん
16日 性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律公布/施行(2004年)
- にち ね る そん まん でらこくさいて -
18日 ネルソン・マンデラ国際デー
- にち じょし たい けいたい さべつ てっぱい かん じょうやくはっこう ねん
25日 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約発効(1985年)
- にち こくさいふ れん どしっぶ て - じんしんとりひきはんたいせかい て -
30日 国際フレンドシップ・デー / 人身取引反対世界デー

ゆうじん ちじん きま あ がくしゅう ぶか こころ まちししています
友人・知人を誘い合って学習を深めてください。心よりお待ちしております

期 間: 2025年7月8日(火)~24日(木) 午前9時~午後5時

※土・日・祝は休館します。

※10日(木)、17日(木)、24日(木)は午後7時30分まで延長します。

場 所: いがまち人権センター(まえがわ隣保館)

展示形式: 企画パネル

展示会場: 〒519-1402 伊賀市柘植町8898番地

伊賀市人権生活環境部同和課

いがまち人権センター(0595)45-4482

(最寄の I C) 名阪国道『上柘植』I C より、車で約3分

担当連絡先
地域力創造部文化振興課
担当者名：井田
電話番号：0595-41-0400

伊賀市本庁舎アート情報（7月展示）について

伊賀市本庁舎を利用して、絵画等の展示場所を市民に提供することと、市民の誰もが文化芸術に触れることができる場所を提供するために、本庁舎4階に市民ミニギャラリーを設置し、作品を展示しています。

今月の展示は次のとおりです。

また、多くの皆さんに文化芸術に触れ親しんでいただくため、本庁舎1階にも、美術作品や生花を展示します。

(1) 展示場所 伊賀市本庁舎4階 市民ミニギャラリー

1階 玄関横

(2) 展示期間 7月1日(火)～7月31日(木)

午前8時30分～午後5時15分(市役所の開庁時間に準ずる。)

※準備・撤去の都合により展示のない時間帯が生じる場合があります

(3) 展示内容

○【4階市民ミニギャラリー】

第20回伊賀市民美術展覧会【市展「いが」】 高校生入賞作品

- ・絵画 「島の流れ」 竹住 友杏さん(上野高校)
- ・絵画 「オアシス」 福田 優衣さん(上野高校)
- ・絵画 「卒業」 森岡 華子さん(上野高校)
- ・絵画 「帰り道」 奥深 綾菜さん(上野高校)
- ・絵画 「忘れちゃった」 ホリノ ユキナさん(上野高校)

○【1階玄関横】

第20回伊賀市民美術展覧会【市展「いが」】 高校生入賞作品

- ・書「清乾隆皇帝 七情箴より「欲」」 村田 凛々花さん(上野高校)
- ・書「臨 伊都内親王願文」 上田 侑果さん(上野高校)

かとう い が かとうきょうかい
○華道 (伊賀華道協会)

6月30日 ～ 7月4日
7月7日 ～ 7月11日
7月14日 ～ 7月18日
7月22日 ～ 7月25日
7月28日 ～ 8月1日

いけのぼう
池 坊
さ が ごりゅう
嵯峨御流
いけのぼう
池 坊
いけのぼう
池 坊
さ が ごりゅう
嵯峨御流

(4) 主 催 者 伊賀市 地域力創造部 文化振興課